

挨拶は、まず大人から!! \あいさつ運動にご協力ください/

あいさつで育む豊かな人間関係と、明るく安全で住みよい地域社会づくり。

大人が率先して「あいさつ」を!

コロナ禍により家庭や地域社会においてコミュニケーションが薄れ、社会全体のモラルや規範意識の低下を招いています。そういった中で、学校では先生方が子どもたちに対し挨拶の重要性を指導され、児童会・生徒会を中心とした「あいさつ運動」も活発に展開されています。

しかし、家庭・地域の中で子どもたちは「あいさつ」ができていますか。地域のひととの挨拶では、恥ずかしさや知らない人への緊張などからうまく挨拶ができない子どもたちもいます。子どもたちが安心して気持ち良い挨拶ができるようになるために、まず大人から積極的に挨拶をすることが大切です。また、いつも挨拶できる子ができない時に「どうしたの」といった思いやりや、「元気出しなよ」と励ましの言葉をかけることも、大人の役割です。



「あいさつ」のいいこと

- ・「あいさつ」をすると、また、されると、気持ちよくなり前向きになれます。
- ・「あいさつ」は、あいさつをする人同士の心の距離を縮め、親近感や連帯感をもつきっかけとなります。
- ・「あいさつ」により、地域に住む方や自分の住む地域に深い愛着を抱くようになり、住みよい地域づくりが進むことが期待されます。
- ・「あいさつ」が交わされることにより、青少年が健全に育まれる環境が整うことや、犯罪の起こりにくい地域づくりにつながります。

稲部小学校

～マメマメ大作戦～秋の感謝祭

あいさつ運動

2024年11月30日に行われた秋の感謝祭において、いくせい東員稲部校区の推進員があいさつ運動を行いました。



第二中学校

毎月第一火曜日

登校時挨拶運動

毎月第一火曜日に生徒会が中心となって登校時にあいさつ運動を実施しています。いくせい東員校区推進員も参加しています。



東員町青少年育成町民会議（いくせい東員）は、学校、地域、家庭が一体となって、挨拶の大切さを伝えていくと同時に、身近な大人が手本となって、挨拶を元気にしている姿を実際に見せることが一番ではないかという考えから「あいさつ運動」を推進しています。

いくせい東員4コマ漫画

「おはようのお返事は?」



～今年やろうとしていること(2025年度事業計画)～

- ◆いつでも、どこでも、誰もが挨拶するまち「あいさつ運動」
- ◆感謝の心が溢れるまちへ「ありがとうの花を咲かせよう運動」
- ◆ネットの危険から子どもを守る「子どもSNS対策」
- ◆子どもの意見を意見として終わらせない「わかもの未来WEB会議」
- ◆家族と、仲間と一緒にウォーキング「町民歩け歩こう会」
- ◆夢から現実へ。あなたの思いを形にします「若者活動支援」
- ◆子どもの健全育成に係わる団体との連携



読者プレゼント!!

ご応募いただいた方の中から抽選で、
「QUOカード1,000円分」を合計20名様にプレゼントします。

クイズ/いくせい東員(東員町青少年育成町民会議)では、
「〇〇〇〇〇の花を咲かせよう」運動を展開中です。
さて、〇〇〇〇〇に入る言葉は何でしょうか?

ふるって
ご応募ください。

[ヒント]
この誌面のなかに
あります。

応募方法(郵送)/ハガキに住所、氏名、年齢、クイズの回答をご記入うえ郵送してください。
〔郵送先〕〒511-0251 三重県員弁郡東員町大字山田1700 いくせい東員 プレゼント係
応募方法(WEB)/携帯のカメラで二次元コードを読みとるか、URLからご応募ください。

締切と当選者数

- ①2025年9月30日(当日消印有効)/10名様
- ②2026年2月28日(当日消印有効)/10名様

※当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



発行者

東員町青少年育成町民会議 広報編集委員会(東員町社会教育課内)

〒511-0251 三重県員弁郡東員町大字山田1700(東員町総合文化センター)
TEL 0594(86)2816/FAX 0594(86)2854 URL <https://logoform.jp/form/KsoK/558920>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和7年号

広報いくせい



ありがとうの飛び交う家庭づくり

ご挨拶



東員町青少年育成町民会議(愛称 いくせい東員)会長の伊藤正人でございます。
皆さまには、日頃より子ども・若者の健全育成にご協力とご尽力を賜り、心より感謝を申し上げます。
さて、東員町では16年一貫教育プランというしっかりとした学びの場があります。そして、子どもは社会との関わり合いの中で成長し大人へと育っていきます。

そこで重要となるのは、社会との最初の接点である「あいさつ」ではないでしょうか。家庭の中で、地域の中で、町の隅々まで「あいさつ」が飛び交うことで、子ども・若者が健全に育まれる環境、町になるのだと信じて疑いません。

「いくせい東員」のメンバーは、子どもたちに対し、町内で一番あいさつを交わしてくれる大人たちとして、親しまれる存在を目指しています。これから皆さまのご支援とご協力をいただきながら、子ども・若者の健全な成長に寄与できるよう努めてまいります。皆さまにおかれましても、子どもたちを見かけたら元気よく「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」などの声掛けをいただければ幸いです。

東員町に住むすべての子ども・若者は、町の将来を担う宝です。その子ども・若者が健やかに成長するため、家庭や学校、地域で、子ども・若者たちを温かい心で見守りましょう。

会長 伊藤 正人



東員町青少年育成町民会議(愛称:いくせい東員)

ありがとうの花を咲かせよう運動!!

たくさんの方が咲きました!



ありがとうの並木道ができました!!

感謝の気持ちを記した花型の付箋を木の幹へ貼り付けていき、満開にしていくあいさつ運動です。一つひとつの花に書かれたメッセージをみんなで共有し、感謝の気持ちがお互いに行き来する気持ちのよい環境が町内に広まりつつあります。いくせいで東員は「ありがとう」をはじめとしたあいさつのあふれる地域づくりに取り組んでいます。「自分たちのサークルやイベントでもやってみよう」という方はいくせいで東員までご連絡ください。

※「ありがとうの花を咲かせよう」運動は東員町16年一貫教育プラン「3感を育む子育て20のポイント」のうち下記2項目の実践につながります。
11. 子どもは親の言うことをあまり聞かれません。親のやることをまねします。20. お父さんお母さんが小さなことにも感謝できれば、子どもに感謝の心が育ちます。



町民歩け歩こう会実行部会



2月23日(日) 寒空の下、春の訪れを告げるひな祭りの時期に合わせて「第44回町民歩け歩こう会」を開催しました。参加者は、文化センターへ8時に集合。ゼッケンを着け、ラジオ体操をして目的地に出発。今回は北勢線で東員駅から阿下喜駅まで電車を利用し、「あげきのおひなさん巡り」約5kmの道のりを商店や個人宅に展示される段飾りや吊るしびなど、普段は見ることができない豪華絢爛なひな人形を楽しみながら散策しました。昭和初期から現代にかけてのひな人形の移り変わりが学べたり、ビックリするような段の多いもの、可愛くて面白いひな人形などが飾られていたりして、華やかに彩られている優雅さには思わず目を奪われてしまいました。帰りの北勢線車内では、会話に花が咲き、次回の歩け歩こう会での再会を約束する参加者の姿も見られました。



子どもSNS対策推進部会



1月31日(金) 東員第二中学校において、これからスマートフォンを持つ中学1年生91名を対象に「正しいスマートフォンの使い方講座」を開催しました。この講座は、三重県教育委員会が推進する教育プログラム「まな便(まなびの宅急便)」を活用したもので、講師は高田短期大学ボランティア活動支援室の学生が務め、三重県警察本部サイバー犯罪対策課の担当官のサポートもいたって、スマートフォンの正しい使い方や闇バイトなどのトラブルに巻き込まれないようにする注意点などについて講演していただきました。講座は、講師の学生自身の体験例を交えて分かりやすく説明、またクイズ方式で問いかけるなど、スマートフォンを持つことによる「依存症」「課金」「勉強時間の確保」「SNSで嫌な思いをしない」という問題について、その対策をアドバイスしてくれました。年齢の近いお姉さんのような講師の学生さんの話に生徒たちも興味津々に良く聞いていて、部会にとっても参考になり、また楽しい内容でした。質問コーナーでは生徒から次々と質問の手が上がり、関心の高さに驚かされました。中学1年生のほとんどがスマートフォンを持っていると聞き、想像以上に子どもたちに浸透していることを知りました。子どもSNS対策推進部会では、スマートフォンを持つ年齢が年々低年齢化していることから、今後も子どもたちにスマートフォンの正しい使い方やトラブルに巻き込まれないための講演会や啓発活動を行い、子どもたちの未来を守っていききたいと思います。

